

統計

伊万里

I M A R I

平成 30 年
(2018年)



伊万里市

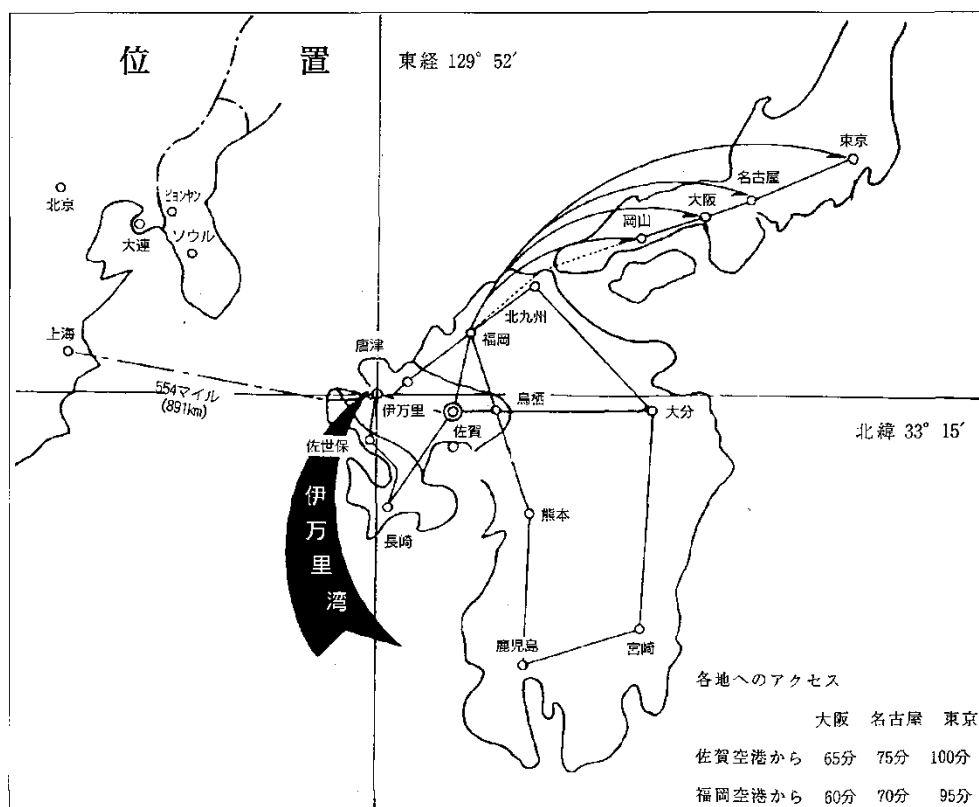
本市は、佐賀県の西北部にあって、東松浦半島と北松浦半島の結合する位置にあり、伊万里湾が深く入り込んだ天然の良港を擁しています。

平成30年は、今後8年間の市政運営の指針とするため、人口減少社会への対応を最大のテーマとする「第6次伊万里市総合計画」の策定を進めるとともに、市ビジネス支援オフィスビルが完成したことを受け、若者の市外流出に歯止めをかけるため、若者・女性が働くことができるIT関連等の事務系企業の誘致に積極的に取り組み、3社との進出（立地）協定を締結しました。そして、市経済の健全な発展及び地域の活性化のため、市、企業及び市民の役割などを規定した県内初の「中小企業・小規模企業振興条例」を制定しました。

また、西九州自動車道の伊万里東府招インターチェンジが開通し、観光誘客の主要なターゲットとなる福岡都市圏との移動時間がさらに短縮されました。

さらに、教育面では、市内初の義務教育学校『南波多郷学館』の開校により新しい学校の歴史がスタートしました。教育環境の充実に向けては、平成31年度にすべての小中学校の普通教室と特別支援教室にエアコンを設置するとともに、伊万里中学校建設工事への着工や留守家庭児童クラブの開設時間の延長などに取り組みます。

このように、将来を担う子どもの教育環境の充実に特に力を入れていくほか、若者の定住に必要なしごとづくりを図るため、松浦町に企業誘致の受け皿となる新たな工業団地を造成するとともに、市民の安全・安心を確保し、健康づくり活動の促進を図るための施策を展開するなど、今後も幸福感に満ち溢れ「住んでいてよかった」と実感できる伊万里市づくりに、市民の皆様とともに取り組んでいきます。





市長 深浦 弘信

市の花



つつじ

市の木



マキの木

伊万里市

